



学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子
児童数 男子489名 女子461名 計950名

TEL (048)222-4383

FAX (048)222-9388

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子



元気になる体の使い方 ～ 一人が変われば、クラスも変わる ～

校長 石井 宏明

このところ、休み時間にもしわすだっ子たちの(打)楽器演奏のリズムが管理棟中に心地よく響き、緊急事態宣言下でありながらも、教職員が一体となり、感染症対策を講じながら子供たちの学びを創造しております。

一つ一つの学び、体験を通して、子供たちには自信をもたせたいと願っております。

しわすだっ子が、常に自分に自信をもち、高いモチベーションを持ち続けていくためには、元気であること。いえ、元気を出すことが大切だと考えております。

そのためには、以下のような7つの「体の使い方(姿勢)」が大切になってきます。

- 1 うなづく … 首だけでなく、胸から大きくうなづく
- 2 返事をする … 元気に力強く、シャキッと返事をする(マスクをしていても)
- 3 手を挙げる … 右手をまっすぐ、指先まで伸ばして(自分から積極的にトライ)
- 4 発表する … はっきりとした声で堂々と発表する(正解かどうかは二の次)
- 5 拍手する … 心を込めて、強く・速く拍手する
- 6 笑 う … 素直に笑い、笑顔の輪をつくる(広げる)
- 7 前向きな言葉 … 前向きな言葉を使い続ける

何だ、そんなこと?とお思いの方も多いと存じますが、これらは、非常に効果があります。実際に授業を観ていても、このように体を使っているしわすだっ子を何人も見ることができます。このような子が複数いるクラスは、教室に入っても、みんなが明るく、活気があり、ホンワカとした柔らかい空気に満ちています。

心と体は一体であると申しますが、体の使い方をよりよく変えると、心もよりよく変わります。

前向きになれる。自信がもてるようになります。テンション・モチベーションも上がります。

一人が変わると、その周りの人も変わっていきます。周りが変わると、環境も変わっていきます。環境が変わると、その中で学ぶ(生活する)一人一人が変わってきます。

今後ますます、何が正解かわかっていない時代、自ら仲間とともに「自分なりの答え」を創っていく時代になっていきます。

未来を拓くしわすだっ子には、望ましい環境の中で、夢をはぐくんで欲しいものです。

そのためには、まず子供たち一人一人が「自分の体の使い方を元気にする」ことを願っております。

*表題左のイラストは「SKY 擬人化(バレンタイン ver.)」【作絵 鈴木ひかり(6年3組)さん】です。